

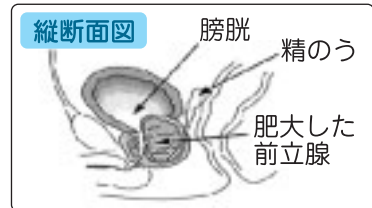
今月のテーマ 前立腺の病気

中高年の男性で「どうも尿の出方が気になる」という方、いらっしゃいませんか？

このような症状の背景には、前立腺肥大症や前立腺がんなどが潜んでいることが多く、病院に行かないまま病状が進行してしまう場合があります。

*前立腺肥大症ってどんな病気？

図のように、前立腺は膀胱の出口部分にある臓器で、膀胱から延びる尿道をくるむようにして存在します。この前立腺が腫れて尿道を圧迫し、尿の出方に影響を与えるのが前立腺肥大症です。



次の10症状のうち、3つ以上当てはまる場合は、早めに泌尿器科を受診することをお勧めします。

1	息をこらえて下腹に力を入れないと尿がなかなか出てこない。	6	排尿の最後、尿の切れが悪く、よく下着やトイレを汚す。
2	尿の勢いが弱く、途絶えたりポトポトしたり落ちる。排尿時間が長い。	7	飲酒後に尿の出始めが悪くなる。
3	しばしば残尿感があり、排尿感覚が2時間以内のことがよくある。	8	長い時間同じ姿勢で座っていると尿の出が悪くなる。
4	夜中トイレに2回以上行く。	9	なんとなく股間に腫れぼったいような違和感がある。
5	尿意が我慢できず、トイレまで間に合わないことがある。	10	薬(かぜ薬、胃腸薬、精神安定剤など)を服用し始めてから尿の出が悪い。

50歳を過ぎた男性には、大なり小なり前立腺の肥大が起こるといわれており、加齢による老化現象のひとつといえます。しかし、症状が悪化すると、尿がまったく出なかったり、残尿の影響で腎臓に悪影響を起こすこともあります。

*前立腺がんが増えていきます！

近年、食生活の欧米化に伴い、前立腺がんを発症する人が増えています。最近の調査では、50歳以上の男性の約300人に1人が前立腺がんになっているというデータもあります。前立腺がんは、**初期の段階ではほとんど自覚症状がなく、前立腺肥大症に比べて進行が目立たない**ため、早期発見が難しいとされています。早期発見を可能にするためにも、定期的な健診を受けましょう。

★ゲンキ城里★ぴっく・あっぷ!!★

今年度は町の保健事業を紹介していきたいと思います！ゲンキな城里町にするために、保健師が皆さんの健康のお手伝いをしています。

今月の**ぴっく・あっぷ**は「町の健康診断」です。

昨年度は城里町の健診で885人の方が前立腺がん検診を受け、そのうち61人(約7%)の方が要精密検査の結果となり、病院受診をお勧めしました。

町では前立腺がん検診を50歳以上で受けることができます。自己負担金は500円で、血液検査をします。健診を申し込み、健診当日、会場の受付で前立腺がん検診を申し込んでください。



次回のまごころ通信のテーマは「食育」です。